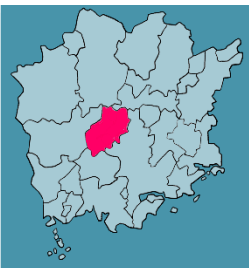


吉備中央町 きびちゅうおうちょう

吉備中央町は岡山県の中央に位置し、標高200～500mの高原地帯で、気候は県南部と比べて冷涼な地域です。自然が豊かで森の宝石「ブッボウソウ」の飛来地として多くの愛鳥家を魅了しています。他にも温泉や農家民宿、紅葉の名所など魅力的な観光資源に恵まれています。

産業の中心は農業で、水稻を中心に高原野菜、果物、花き、酪農、肉用牛肥育が盛んです。



子どもは のびのび 健やかに
だれもが はつらつ 暮らせます

実現のための
4つの基本目標

1

吉備中央町に仕事をつくる

2

吉備中央町への人の流れをつくる

3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

4

魅力的な吉備中央町をつくる

1

まちのイメージ向上と
戦略的な情報発信

実現のための2つの
横断的目標

2

デジタル社会と
暮らしやすさの調和

デジタル田園健康特区の推進

革新的事業連携型の国家戦略特区の枠組みを活用し、健康医療分野等における革新的な事業を先行的に実施するため、3自治体※の連携による取組を強力に推進します。

デジタル技術を活用し、健康・医療などをはじめとした地域の課題解決に重点的に取り組んでいきます。

※3自治体：岡山県吉備中央町・長野県茅野市・石川県加賀市

吉備中央町デジタル田園都市構想推進計画

地方創生に関連する事業への活用のため、企業版ふるさと納税による寄附を募集しています！

吉備中央町に仕事をつくる事業

本町では、人口減少と生産年齢人口の減少が進む中、地域産業の生産性向上や働き場の確保、イノベーション創出による産業振興・起業促進に取り組んでいます。スタートアップ支援や事業者間の協力、デジタル基盤整備により地域全体の活性化を図り、若者・女性・プロ人材や域外の事業者を積極的に受け入れ、多様性を活かした新たな仕事づくりを推進します。

★アピールポイント

吉備中央町は県内でも有効求人倍率が高い地域です。多くの方に町内の企業を知ってもらうために企業ガイドを作成しています。



吉備中央町への人の流れをつくる事業

人口減少・少子化が進む中、本町の活性化には移住・定住の推進と流出防止が重要です。都市部の人材を誘致し、新たな視点で町の魅力を再発見する地域おこし協力隊事業や、U・Iターン者や新規就業者、住宅取得者への奨励金交付や、移住希望者へ住宅を提供するお試し暮らし住宅事業により、空き家解消と移住者増加を目指します。

★アピールポイント

吉備中央町での日常を「見て・触れて・話せる」暮らしを体験するツアーを実施しています。地域の魅力や生活のリアルを体感してみませんか？



結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

次世代を担う子供たちが豊かな心を育み、確かな学力と体力を身につけ、一人ひとりが自身と希望をもって自らの将来や社会を力強く切り開いていけるよう、教育活動の充実と、健やかに育てる環境づくりを推進してまいります。さらに、結婚や子どもを持つことを望む人の希望がかなう環境づくりを進め、すべての町民が結婚や子育てを支え合うまちづくりに取り組めます。

★アピールポイント

子どもは吉備中央町（まち）の宝物
～あの子 どこの子 知っとるでえ みんなで子育て 吉備中央町～



魅力的な吉備中央町をつくる事業

地域活力の低下が懸念される中、本町では高齢者や身体障害者の通院・外出の支援や、障害者の自立支援医療や福祉サービス利用費・補装具費の支給を行い暮らしの向上を目指します。また、医師・看護師等の確保に補助金を支給し、地域医療体制の安定化を図るなど、すべての町民が健康で安心して暮らせる医療の整備を目指します。

★アピールポイント

吉備中央町の個性を活かしつつ、暮らしの向上を目指し、魅力ある地域づくりを実現します。



重点
施策

農業で仕事をつくる

農業振興

総事業費

—

数値目標

新規就農者 5人／年

現状・課題

本町は比較的穏やかな地形とやや内陸性で県南部より冷涼な気候となっているため農業に適しており、昔から水稻、高原野菜、ピオーネ、ブルーベリーなどの栽培で県内有数の産地となっています。

しかし、農家数の減少、農業者の高齢化による担い手不足、耕作放棄地の増加が課題となっています。



事業の目的・内容

若い世代の新規就農者を積極的に確保し、農業公社等で農業研修を実施するとともに、研修終了後も独立に向け、幅広い支援を行います。



また、現在実施しているピオーネ栽培の研修に加え、その他作物については、備前広域農業普及指導センターと連携し、栽培技術指導を行っていきます。

重点
施策

子育ての希望をかたちに

子育て支援

総事業費

—

数値目標

合計特殊出生率 1.89

現状・課題

地域から見守られ、安心して子育てできる環境づくりに努め、教育や健康、文化などの多面的なサポートを提供し、こどもたちが笑顔で幸せに成長できる取組みを推進しています。



事業の目的・内容

乳幼児に対しては、認定こども園通園児の保護者負担軽減を目的としたおむつサブスク事業、親子で遊ぶ場の提供・子育て親子への支援を行う場の運営などを実施しています。

小・中学生に対しては、小中学校の給食費の無償化、保護者が労働等で昼間の家庭にいない小学生に対して、放課後の居場所を提供する事業の運営、中学生を対象にした公営学習塾の運営、さらに体験活動を通じて社会性や自主性を育むアフタースクール事業などを実施しています。

乳幼児からから中学生まで、切れ目のない支援を実施していきます。



お問い合わせ先

協働推進課（電話：0866-54-1301）